

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020700		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	創意ある学校園づくり推進事業		予算事業名	創意ある学校園づくり推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	誰(何)を対象として	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもの豊かな成長を図ることを目的として、創意ある教育活動を展開する事業に要する経費について、補助を行う。					
	事業の全体年度	事業着手年度	(年度)		事業完了予定年度	(年度)	

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かしたもので、事業を進めていくうえで、教職員、児童・生徒が一体となった主体的・創造的な取り組みが期待できる事業。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	補助件数	件	16	16	16	16	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.120	0.096	80	0.096	100	0.096	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,288,293	1,063,526	83	1,071,786	101	1,089,393	102	
	事業費	4,799,544	4,622,278	96	4,623,341	100	4,200,000	91	
	合計	6,087,837	5,685,804	93	5,695,127	100	5,289,393	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,087,837	5,685,804	93	5,695,127	100	5,289,393	93	
合計		6,087,837	5,685,804	93	5,695,127	100	5,289,393	93	

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円				
項目		26年度	27年度	28年度	29年度	/
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助学校園数							
指標説明(式)		補助学校園数(16校園)÷総学校園数(16校園)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標		100	-	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2		学校評価(特色ある学校づくり)肯定割合 平均値							
指標説明(式)		「伝統や校風、地域実体を踏まえた特色ある教育を行っている」肯定割合(教職員回答)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標		90.0	-	90.0	100.0	90.0	100.0	
	実績		85.5	-	89.2	104.3			

【効率性】

指標名1		1校当たりのコスト							
指標説明(式)		決算額÷補助学校園数(16校園)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標		300,000	-	300,000	100.0	262,500	87.5	
	実績	299,972	288,892	96.3	288,959	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	教職員の積極的な提案を奨励し、その実現を図ることにより、教職員の創造力、研究心及び学校経営への参加意欲を高め、特色ある教育活動への積極的な取り組みを行った。	4
有効性	期待する目標	特色ある教育活動への積極的な取り組みを行い、児童・生徒が楽しく学べる学校、保護者が安心して通わせることのできる学校の具現化を図った。	4
	成果の向上	学校、地域の特色を生かした事業計画を教職員の積極的な提案により、計画することができた。	
効率性	手段の最適性	学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かした特色ある教育活動を実施するため、学校園単位に限らず広域的な事業の計画・実施を行う必要がある。	3
	コストの節減	平成28年度より全補助学校園を対象に、事業計画・予算書に関するヒアリングを実施し、事業計画の精査、査定により需用費等の削減に繋がった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗しているが、より学校、地域に見合った計画への見直しを要する。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	学校区の特色をより明確にした事業の計画・実施について、各学校園での検討を要する。



配点	32.5
総合評価	23

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	各中学校区(那波・双葉・矢野川)ごとに、幼小中が一体となったみんなの学校事業計画を立案してもらい、より地域性を明確にした事業を実施する。

(2) 30年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	縮小